



自分たちでついたもち最高

加茂野児童館で「もちつき」が行われ、園児、小学生とその親ら約150人が参加して貴重な体験をしました。

健寿会、民生児童委員、主任児童委員、保護者会など、多くの地域の人たちの協力を得て、家庭ではなかなか体験できない昔ながらのもちつきをしました。

12月1日(土):加茂野児童館

うまく張れたかな

文化の森のまゆの家で「くらし体験講座 障子はり」が行われ、年末仕事の一つ、障子の張り替えを行いました。

参加者は障子張りの初心者ばかりで、最初は悪戦苦闘していましたが、コツをつかむとスピードも上がり、終わりのころには一発でビシッと張れるようになっていました。

12月1日(土):文化の森



タスキをつなげ

初冬の加茂路をタスキでつなぐ「第43回加茂駅伝大会」が、八百津町から美濃加茂市までの男子6区間(中学生7区間)20.2キロ、女子6区間16キロで開催されました。

過去最多の94チームが参加。選手は、沿道の人や応援に来た仲間たちから熱い声援を受け、力走しました。

12月2日(日):八百津町～前平総合運動場

上手に演技できたかな

日本の古典芸能に親しんでもらおうと「小中学校芸術鑑賞教室」が開催され、市内と富加町の小学6年生と中学1年生が、狂言の魅力を学びました。

児童生徒の代表がステージに上がり、狂言の基本を学びました。

その後、「柿山伏」「附子(ぶす)」が上演され、初めて見る狂言の世界を楽しんでいました。

12月7日(金):文化会館

